



79
4315
2



香道流之線卷下

大枝流芳編集

古組香十品

○名所香

香四種也

- 一 四色
- 二 四色
- 三 四色

右の内一色は試みおは

審一色

右の試を一又六試あるは事あり

右試三色は試みお香十色打中せ焼おとる

香道流之線下



一、短くさめて立物とす先務員も也此年
 有野方龍田方と立目とを呼ぶ一宗福師の
 四百二人より二百たぐい
 盤の五約ふ十目中、小務員は場わり源平香也
 盤を用るなり有野方の横田方ハ和義と立
 立物袖のゆせ屋て袖てわたり一人よりその
 務員の場めてわたりゆせの花もても和義と
 ち換てゆせとて守て當り時立べい
 け組ハ本源平香より一門一奉るそれと

源平香志野家より引來り一、小實永正
 保乃法源平れわるといふ不吉と忌て
 貴命と受け、兼川常伯子と名と改て和
 白の旗と花紅葉より引て立かへらじ
 となり源平香ハ双方けさ行當をいすけ
 一、短とわくへ退て手おのこすとす先行
 名所香ハ行當をいすけ行ちびけなり又源
 平香ハ袖より旗立とて當り人のこを
 横よあれ名所香ハけりめを屋中當て

香道流之線下

後立ちなりけき味べし記録の道
 ぐるまろと備し尤者整方就田方と
 うら記録と圖よし

名所香之記

香組

一 まつび
 二 糸さめ
 三 花すこ
 密花梅

二 一 一 三 二 一 一 三 三 少 二

吉野方古之点勝

白梅	二	一	三	一	三	六
早梅	一	一	二	三	二	五
山吹	二	一	三	二	一	三
就田方	二	一	三	二	一	三
着犯	二	一	二	一	三	六
龍菊	二	一	三	二	一	三
和葉	一	二	三	二	三	三
月日						

香道遊之録下

○競馬香

香曰種也 一尾 二尾 三尾 客曰也

右試四色決てお香十色打ませて内二色除
去て少十色と焚おと丸一焼しきよて勝
負とて一連中お香より色黒方い右赤方と
たくとつれゆへ一獨ゆい三石なり記孫名所
香も同ト盤立物の置れがく一袖いぞよ馬と香
あせの穴より人形と色とよ一焼ゆ置しより

紫べ一右右とも小連中組合れ置敷終あゆ
をじべ一いつきよても又置おるまは馬より
人形とわら一あせよ色とよ一連中又も小紫
かり勝負乃根ハ人より十人まがいの目
小たけり八人より十人目れなはつかり
或は後より根と赤方より一連中若玉方勝ば
ろくは後何の根かさるなり根付の根と勝負
故なまはさるはて双方の内づきよても
用べしとて 本とよくあ一た方勝も盤の勝負
い妙どゆべ一 或は後より勝負の本とよくあ
遊解は持とつなりと云流わり用べしは深なり

香道遊之線下

了る六間目根の場よむき根乃魔とわら
十一日今此場よむきは金の魔とわけふべし
按よ是子客とわら八只四の香とわらべし
試わり試みよより客れゆ小腰みれ息を
し獨ゆといづきの香よと連中れ中
て獨まき一時の腰みなり矢数の事ハ
京都大仏三十三間堂めて孝長十三年四月
十九日石堂竹林が弟子浅田氏より起まり
九矢数香の盤れ目十六日わけて香ハ十二瓶

あり十二づけゆ時ハ十六間立物乃矢とや事
矢数の体より源子細あり右人の素とわら
みどり小見とごに盤るに記録常れどし

○源氏香

香又後也
各老のつとふ色をりとも小試か
打もを巻て小色をて焼か

右老焼か色紙香よりとと大瓶ゆ換て
連中各系紙ゆゆ一法牙と圖よ化をわら香
えうけえ香の色紙とわらに記録し湯り

香道漸之線下

香三程也

一三也 二三也 三三也 三九也

右各試あり

右系より源氏香と同し香教二程ありとの
なり圖并は名目へと卷よのせり

按よ源氏香系圖香三炷香各三能同ド

源氏ハ五程系圖ハ四程三炷香ハ三程あり

系圖香ハ十炷香記及香乃秘傳よわ事ハ

今け虫よりりり源氏三炷香ハ遺漏

せりより正し載る事可れり

○ 任者香

香五種也

香代と名付ニ也 久し明へると名付ニ也
たけ中は香代ニ也 加ひてと極し香代ニ也

右内一色つ試よあり

任者此香一色試り客あり

右試四色試て中香室も又色打すせ焼おと

一皮く包紙と考よりしとさ又炷子焼決して連

中の中と名乗紙よありおに代名紙の造りハ香乃子

任者の松ハ長点と外ハ平点たてハ炷平点と

香道漸之線下

とも家のゆりあつと猪とさぶらむるなり記録たれどし

任者番之記

香紙 君代の久しめ
たけふの かつま

かひてを極 君代の 任者番 たりふの 久しめ
かひてを極 任者番 君代の たりふの 久しめ 名乗三
君代の たりふの 任者番 久しめ かつま 極 日一

かひてを極 君代の 任者番 たりふの 久しめ
久しめ 任者番 たりふの 君代乃 かつま 極 日二
かつま 君代乃 たりふの 久しめ 任者番 日二

月日

○草木香

香又極也 一二包 二二包 三二包 四二包 又二包
以上十包なり試あし

香道 試之線下

右一より又まき一海こやうなうてん一方かたの打うちまき一
色いろ取とり又打うちまきせて又色いろ焼やくるこ小こ名な香かうのい
たたやう小こ同どう一いやまままませせ茶ちや来られれ名な子こ他たをを
事こと又小こ名な香かう乃の例れいのど名な目めたた子こ記き

八は志しささらら　　かかここささ　　かかろろつつ　　ととままれれかか
ささいいささくくささ　　たたままくく川がわ　　ははくくささ　　ゆゆききひひささ
いいくくすすささ　　くくままれれささ　　くくちちろろままうう

○ 舞ふ樂かく香かう

香かう又また種しゆ也なり

青海波せいかいなみと名付なづけ三さん色しき
柳やなぎ花はな苑えんと名付なづけ三さん色しき
白しろ浪なみと名付なづけ三さん色しき
おおままと名付なづけ三さん色しき

右みぎ内うち一いち色しきつつ試しままかかととべべ

ウう光ひかり源げん氏し一いち色しき
容よう勝しょう月げつ秋あき一いち色しきけけ二に色しき試しまま

右みぎ試し四し色しき試しててかか香かう十じゅう色しき打うちままききせせ焚たきかかとと一いち色しき
ららととままてて人ひと形かたちとと人ひと形かたちとと勝しょう負ふわわりり記き録ろく書しよににごごりり
ままるるにに拖ひき契せき方かた源げん氏し花はな宴えん方かた勝しょう月げつとと双さう方かた立たてままううまま色しき
ゆゆべべ一いち拖ひき契せき方かた源げん氏しのの香かうゆゆべべ三さん色しき勝しょう月げつれれ香かうゆゆ

香道かうどう試し之し線せん下げ

巻留のびくし

札之紋

表紅葉賀方五人分

村松

初松

散松

落松

深松

○花宴方

白松

山松

能松

東松

初松

とそふ五人分 双方い

上十人分なり

裏

青海ニ数手ニ

柳花ニ

白松ニ

多ニ

上十枚一人分なり

札の

家子

源氏 臘月

の美列ありお喜れ色紙のかりせよいけ志

内一あるべし家ハ仕合次第ありて源氏ありて之

臘月より五當りなり

右舞樂香古來傳り所法家の中正一がど

とて教説と集考てより一とふ信ひく

畧と補ひ正しあるに事かれば一と記録

やういたのど

舞樂香之記

香紙青海花をき数手白菊

柳花松の月白松 露紙

宮孔雀

香道流之線下

青柳白皮源青白柳膠皮

拖契方九点

落葉 拖青 白皮 青 柳膠 七点

散拖 柳白 源 白柳膠皮 十点

源拖青柳 皮源青 皮 八点

花宴方九点員

白櫻青柳白皮源青白柳膠皮 十二点

兼拖青柳 皮 青 四点

純櫻 柳白 膠皮 六點

月日

○源氏四町香

一柱と紫と名付四色

香八柱也 一柱と女三と名付四色

一柱と花散置と名付四色

一柱とぬ石と名付四色

在肉一色つ試よおに

一柱と源氏と名付一色試よおに

香道遊之録下

右試四色浴^{おろ}てか香十二色打まぜ焚^{たき}かき
 一人^{ひとり}用^{もち}三^{さん}点^{てん}二人^{ふたり}より二^に点^{てん}知^しのあさつと一^{いち}点^{てん}づ
 かり^{かり}お居^ゐとわ^わ一^{いち}色^{しき}と二^に色^{しき}とを^を伊^い汝^{にょ}して^{して}浴^{おろ}と
 知^しれた^た札^しも^もひら^{ひら}きて^て記^き録^{ろく}より^{より}川^が一^{いち}点^{てん}かく^くべ
 一^{いち}記^き録^{ろく}ハ^ハぬ^ぬ花^{はな}三^{さん}紫^{むらさき}源^{げん}と一^{いち}字^じづ^づ出^でべ^べ外^が冬^{ふゆ}
 十^{じゅう}短^{たん}香^{かう}れ^れ例^{れい}は^は同^{どう}一^{いち}札^しの^の表^{おもて}紋^{もん}十^{じゅう}短^{たん}香^{かう}と^と同^{どう}一^{いち}裏^{うら}ハ
 一^{いち}字^じづ^づ記^き録^{ろく}の^の毎^{まい}虫^{むし}毎^{まい}一^{いち}記^き録^{ろく}爰^ゐは^は累^{かさね}一^{いち}ゆ^ゆ
 按^{おん}子^し右^{みぎ}源^{げん}氏^し系^{けい}極^{ごく}は^は四^よ町^{ちやう}と^とた^たて^てく^く四^よ人^{にん}の^の女^{によ}と^と是^{こゝ}
 浴^{おろ}ひ^ひ事^{こと}と^と川^がせ^せり^り芳^{ほう}より^{より}あ^ある^る香^{かう}なり

○ 燵^{あつ} 傘^さ 香^{かう}

香^{かう} 四^し種^{しゆ}也^{なり}

- 一^{いち}粒^{つぶ}炭^{すす} 竈^{くま}と^と名^な付^け 三^{さん}色^{しき}
- 一^{いち}粒^{つぶ}塩^{しほ} 竈^{くま}と^と名^な付^け 三^{さん}色^{しき}

右^{みぎ}二^に粒^{つぶ}一^{いち}色^{しき}づ^づ試^しよ^よお^おに

一^{いち}粒^{つぶ}ウ^うと^と名^な付^け 二^に色^{しき}

一^{いち}粒^{つぶ}密^{みつ}と^と名^な付^け 二^に色^{しき}

右^{みぎ}二^に粒^{つぶ}ハ^ハ試^しナ^なリ

右^{みぎ}試^し二^に色^{しき}浴^{おろ}て^て八^{はち}色^{しき}と^と打^うま^まぜ^ぜ二^に色^{しき}づ^づ縁^{えん}合^あせ^せ是^{こゝ}
 焚^{たき}か^か一^{いち}短^{たん}知^しと^とを^をめ^めて^て札^し打^うべ^べ一^{いち}や^やら^らハ

香^{かう}道^{だう}浴^{おろ}之^の線^{せん}下^げ

先 <small>まへ</small> 極 <small>くま</small> 竈 <small>のち</small> 後 <small>ご</small> 炭 <small>かま</small> 竈 <small>ハ</small>	夕 <small>ゆふ</small> 暮 <small>くれ</small> れれおべー
先 <small>まへ</small> 炭 <small>かま</small> 竈 <small>のち</small> 極 <small>くま</small> 竈 <small>ハ</small>	暖 <small>あたたか</small> のれおべー
二 <small>ふた</small> 炷 <small>たき</small> も試 <small>し</small> る <small>こと</small> 香 <small>か</small> い	富 <small>とみ</small> 士 <small>し</small> れれおべー
二 <small>ふた</small> 炷 <small>たき</small> も試 <small>し</small> る <small>こと</small> 別 <small>べつ</small> 香 <small>か</small> い	浅 <small>あさ</small> 呂 <small>ろ</small> れれおべー
炭 <small>すす</small> 竈 <small>かま</small> と <small>と</small> 試 <small>し</small> 香 <small>か</small> い	火 <small>か</small> 串 <small>ぐし</small> れれおべー
極 <small>くま</small> 竈 <small>のち</small> と <small>と</small> 試 <small>し</small> 香 <small>か</small> い	炭 <small>すす</small> 火 <small>か</small> れれおべー
二 <small>ふた</small> 炷 <small>たき</small> と <small>と</small> 炭 <small>かま</small> 竈 <small>のち</small>	炭 <small>すす</small> 角 <small>かく</small> れれおべー
二 <small>ふた</small> 炷 <small>たき</small> と <small>と</small> 極 <small>くま</small> 竈 <small>のち</small>	極 <small>くま</small> 角 <small>かく</small> れれおべー
右 <small>みぎ</small> 香 <small>か</small> い <small>と</small> 古 <small>ふる</small> 来 <small>き</small> り <small>り</small> わ <small>り</small> 香 <small>か</small> い <small>と</small> 外 <small>ほか</small> ニ <small>ニ</small> 又 <small>また</small> 燗 <small>あつ</small> 煎 <small>せん</small> と	

云い也えもわり札しとと伊いなり右の中なかやうと考かんれ
 徳とくべい一いち表あらわ紋もん十じゅう炷たき香かいと同どう一いち裏うらハハ中なかれおべい一いち人ひと
 分ぶん八はち枚まいづづりり梅うめはは源げん氏し柏かしわ木き卷まきはは立たち流りゅうく
 消しょうやや志しかかままううととささみみととおおりりひひみみととくく燗あつ煎せんと
 小こけけおおれれ意いままううりりてて紐ひも一いちなるなるべいー

享保十八癸丑歳五月上浣

大枝流芳編集

香道流之縁大尾

香道流之縁下

